

川崎医科大学附属病院で 2012 年 1 月 1 日から 2018 年 12 月 31 日の間に大腿骨頭すべり症の入院治療を受けられた患者さん及びご家族の方へ

— 「不安定型大腿骨頭すべり症の治療成績調査」へのご協力をお願い—

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者 川崎医科大学 脊椎・関節 整形外科学 准教授 遠藤裕介
脊椎・関節 整形外科学 講師 古市州郎

1. 研究の概要

川崎医科大学附属病院で 2012 年 1 月 1 日から 2018 年 12 月 31 日までに大腿骨頭すべり症の入院治療を受けられた患者さんの過去および現在までのレントゲン画像および診療記録記載のデータを個人情報保護に基づいて解析させていただきます。術前の状態および術後経過における治療成績の調査です。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

川崎医科大学附属病院で 2012 年 1 月 1 日から 2018 年 12 月 31 日までに大腿骨頭すべり症の入院治療を受けられた患者さんを研究対象とします。

2) 研究期間

倫理委員会承認日～2026 年 3 月 31 日

3) 研究方法

上記の研究対象期間に当院において大腿骨頭すべり症の治療を受けられた方で、研究者が診療情報をもとに治療内容と X 線画像における術前のすべり症の重症度(すべり角)、整復治療後の状態(矯正すべり角)、その後の骨壊死の有無、可動域、日常生活スコア、関節症の有無に関する分析を行い、その内容について調べます。

4) 使用する情報の種類

過去のカルテ内容、年齢、X 線画像を使用します。

5) 情報の保存及び二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から 5 年間、川崎医科大学骨・関節整形外科内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の試料・情報は施錠可能な保管庫に保存します。

6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等(父母(親権者)、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人)を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの＜情報＞が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2025年12月31日までの間に、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学 脊椎・関節 整形外科

氏名:遠藤裕介

電話:086-462-1111 内線25509(平日:9時00分～15時00分)

ファックス:086-464-1184

E-mail: enhiro@med.kawasaki-m.ac.jp

3. 資金と利益相反

本研究は研究資金は用いません。

本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。